夕刊
磐城新聞
七月二十九日發行
定價 一ヶ月 金[illegible] 一部金五錢
廣告料 [illegible]
發行所 磐城新聞社
（日曜祭日翌日休刊）

銷夏夜話 旅館の怪

島田忠夫

二

私は、ほろ醉ひ加減で、こんな質問をしました。もう二十四五らしい顏立のきりりとした色白のお粂さんに向きながら……

『はい、これでも東京つ子よ。つまり江戸つ子ね。ォホ、、、』

『つまり江戸つ子は好かつたね。また、どうしてこんな山の中の宿屋へ來たんだね?』

『つまり……それは色々な理由がございますわ、妾の姉さんが……』

お粂さんは、こゝまで云つて急に口を噤んで、そは〳〵と立ちかけてゐました

『姉さんがどうしたんだい?』

この時、お粂さんは、もうこの室を出て居なかつたのです

寢しなに私は、浴室へ行つて戻ると、三階の一番北寄りの室に床がのべてあり滑々しい蚊帳が、草いろにか

靜まつて鼾れてゐました。もうTさんは隣室に寢てしまつたらしい。月が傾いたのか、ガラス戸に滿ちてゐた青い光がうすれて、むし暑い夏の夜も、だいぶ更けてゐました

さて、横になつても、仲々に眠れない。目を開けて見れば言るほど、一層この室が陰氣なのです。眞黑に汚れた天井板、所々に傷ついて剝げかゝつた砂壁、天井から下つた電燈の古い笠（尤も電燈は消してありますが）それに、女中のお粂さんが開け放して行つたのか、私が閉めなかつたか、室の入口の襖が開いてゐていかにも、もの寂しいのです、をり〳〵

——くわつ、くわつ

と鳴いて、時鳥か、五位驚かが、ガラス戸の外を過ぎます。月はます〳〵かげつて、ぼんやりと薄明が蚊帳をほのかに青く染めるばかり

ふと、私は目を見張りました

潮聲硯靜抄帳

○芹又は芹摘み、　中島晴陽　大塚竹台子　共選

いつしかに徑はつきて芹田中　松堂

一筋に泥流れゆく芹の水　皓月

落し湯の流るゝ堀や芹青む

○蕉風作品

浦安にて　春陰　天野雨山

春陰の船並め泊つるは淺蜊舟

花曇り遂かく音のまさびしく

海苔舟とみえて小さきも並め泊つる

聞綠丸奇禍（其一）

珠雲　小野務平

一天濃霧曉漾々
內海輕航進退窮
誤觸快船看破碎
生靈無罪沒龍宮

その日〳〵

7月30日

△淺草文庫設立（明治七）△獨鐵血宰相ビスマルク逝去（一八九八）△川中子の鈴木正道君師を苦に鐵道自殺（昭和八）△四倉出願の大敷網漁業問題で豊間、久の濱代表出縣（同九）

○

きのふあたりは海へ行つても、浪はさむ過ぎて這入れなかつた——

小說 誰が殺したか (82)

今野賢三作　龍造寺勝畫

第二の殺人（五十二）

星野が應接間で、咲山と會つて先づ世間話を交してゐると、そこへ春子が訪ねて來た

春子の姿を見ると咲山は殊のほか憂鬱な顏をした

『ね、咲山さん今銀座へでも御散歩にゐらつしやらなくつて!いかゞ?』

『僕は、どこへも出たかアないんです』

咲山はしづんだ聲で言つた

『しようがないわね、あなた、かうしてとぢこもつてばかりゐらつしやると御病氣になるわ』

『……』

『それぢやアかうなさらない、あのまあさんとところへお話にゐらッしつては』

まあさんといつたとき、春子はチラと星野の顏を見た

すると咲山は、眉をひそめて春子に眼くばせするやうにした

星野は『まあさん』といふ言葉を聽きとがめた

『失禮ですが、まあさんといふのは、どなたのお名前ですか……』

『いやなアに、ちよつとした友達のことですよ』

咲山はさらりと答へた

春子は萬事をのみこんでこんどはだまつてゐた

とにかく他の來客のあるとこへ用事があるといふわけでもなく星野はいつまでもゐるわけにもゆかないので、すぐ、そのまゝ歸つていつた

そして星野の姿が應接間から消えると

『春子さん、あんな探偵のゐるところで正常君の事をうつかり口にしちやいけませんよ』

『さうだつたわね、わたし何氣なく口に出してしまつて……』

『正常君は、何も惡い事をしてゐると思はんが、あの腕時計の事をひと通り調べられたりする事は、正常君も迷惑だらうからね……』

『さうね、これから氣をつけるわ……』

春子は神妙にかう言つてからひどく、しづんだ態度になつてうなだれた

ひとしきり二人はうなだれてゐた

咲山は、煙草だけ吹かして、なにやら、考へ込んでゐた

ふと春子は、なんのためか、袂を顏にあてゝ、シク〳〵泣き出した。咲山はびつくりした

『どうしたのです?』

『……』

『どうしたのです?』

春子は答へないで、なほもはげしく泣き出した

『どうして、急に泣くんですか春子さん?……』

『わたし、ほんたうに悲しいんですのよ!』

『どうしてゞすか?』

『どうしてッて……わたしあなたが……』

『僕が今言つた言葉がお氣にさわつたのですか?』

『いゝえ〳〵、そんな事ぢやないわ』

『ぢやアどうしたといふのです?』

すると、春子はうらめしさうな眼をあげて咲山の顏を仰いだ

平音頭 七夕祭 歌詞募集

賞金貳拾圓（入選一篇）
賞金拾圓（佳作五篇）

應募規定

□歌詞　鄕土小唄としてローカルカラーの豊かなるもの
□用紙　四百字詰半紙判原稿用紙
□篇數　一人一篇限りとす
□姓名　住所姓名（或は筆名）は封書のみに自署し原稿には絕對に附記せざること
□宛名　平町田町一六磐城新聞社「七夕祭」係
□締切　八月末日
□發表　九月下旬

選者（イロハ順）

新妻久滿夫
小山田滋
渡邊何鳴
高久晚霞
白木英尾

版權其他一切は本社所有となす。

廣告
前田醫院
院長 前田清美
植田町電話一二四

御新盆の御用意下サイ
御戒名入提灯……特製秋草〇蓮花
其他御コノミニ依リスソ模樣入レ
岐阜提灯各種……
カナラズ良ク安ク御願致シマス。是非御下命下サイ。
平四丁目　スガノヤ提灯店　電話95

平町新川町
木村病院
電話一六四番

高久病院
院長 高久忠
平町田町電五一三

平町南町
大和田醫院
電話一七〇番

新盆用佛壇ト位ハ牌
山光堂佛具問屋
平四丁目局前
電550番
◇祖先崇拜ハ家庭繁榮ノ礎!!!
造花博士 花信

新盆の戒名入提灯
例年の通り御安く御注文に應じます。
弊店の提灯が……體裁が良くて値段の最も安い事は自分で一切の製造仕上げをする事ご場所が不便の爲で有ります
先づ第一に提灯の樣な品は字體を書き上げて初めて其仕上げに値打が出るのであります
以上の諸點を御認めの上大小に拘はらず弊店へ御注文下さる樣に御願ひ致します。
昭和十年七月
平才槌小路千葉辯護士前
金子提灯店

御位牌と佛壇佛具は
品よく値段の安い
橋本屋へ
平新川町 電一六三

七月の傑作盤
無情の夢
船頭可愛や
平盆踊
其外流行歌、浪花節色々あります
金光堂時計店
電話一九五

貸家廣告
一、柳町一六番地　五圓より六圓五十錢迄（三軒）
一、同一一番地　四圓より四圓五十錢迄（三軒）
一、舊城跡二七番地　八圓（一軒）
一、古鍛冶町三六番地　八圓（一軒）
一、內郷村小島　五圓五十錢より七圓迄（三軒）
一、白銀町五番地　八圓五十錢より廿圓迄（三軒）
一、同一一、一二番地　八圓五十錢（二軒）
一、仲間町三番地　五圓五十錢より六圓迄（二軒）
一、同五六番地　四圓より七圓迄（五軒）
一、懸匠町六番地　四圓五十錢より七圓五十錢迄（四軒）
平町白銀町
加藤營業所
電話三二番

新車御披露!
時代ノ尖端皆樣ノ昭和タクシー
ニ又々新車三五年ノ超モダン車
拔群ノダッチブラザース
ガ入リマシタ。
安全、確實、迅速ハ他ノ追從ヲ許シマセン、匆匆シカツタ御花見モ過ギ去リイヨ〳〵遠出行樂ノ季節トナリマシタ、是非昭和ノ新車デオ出カケ下サイ、如何樣ノ御相談ニモ應ジマス。
團體ニハ地方唯一ノ大型遊覽車御利用願ヒマス。
驛前
昭和タクシー
電話三四三・三四〇番

◉暑中の御贈答に!!御宴席に!!納涼に!!
是非ペチーアイス小型花氷を!!!
ペチーアイス券御利用下さい。三回券（美術花氷壹一個付）金壹圓參拾錢
…配達迅速…
氷は平製氷へ
電話二二八。三一六番
◉小型氷柱（ペチイアイス）（一本五十錢 長サ一尺二寸 六時間保チマス）
美術花氷壹一個十錢 何回でも使用可能

盛夏服の大賣出し
評判のよい信用堂のレデーメード
背廣服（單背廣三ツ揃（シルクポーラ）拾五圓から 單背廣上下（シルクポーラ）九圓五拾錢から 背廣上衣折衿（紺黑セル）四圓五拾錢から 白グラニツト折衿上下 五圓から）
立衿上衣（紺黑セル上衣…參圓五拾錢から、白チヨツキ…一圓四拾錢から、白ズボン…七拾五錢から、白セルズボン…二圓大拾錢から）
婦人ホームドレス又男女ベビー服大特賣中
ホームドレス一圓より、小供ベビー服十五錢より
男小供カツクー上衣四拾錢より、外數萬に取揃へて有りますから御散步がてら一度信用堂へ御立寄り下さい。
お電話が有り次第御屆け御覽に入れます。
洋服の御用命は
信用堂へ
平町三丁目 電話六一三番

三村の自轉車
▲輪界で唯一つ▼
流線型 廻轉部純防水式
クロームメッキ仕上
マグネット號
一、流線型卅五年式 自轉車
一、ケース 眞中總クローム厚板赤一本筋入
一、ハンドル 船來引板鋼管最高クロームメッキ
（一ケ年間責任付）
御值段が安くて他車の三倍の耐久力があります。
御希望の方は御申越下さい。
御伺ひ申します。
代理店 平町北目一二 矢野自轉車店
特約店 平町六丁目 大原自轉車店
カタログ進呈

夜間診療
胃腸病 性病
專門
內科 胃腸病科
花柳病科 性病科 皮膚科
（見習看護婦募集）
松村胃腸性病科醫院
（平町南町電一〇七番）

オキシヘーラー
適應症
盲腸炎、腹膜炎、肺炎、中耳炎、乳腺炎、膽石、胃腸病、ルイレキ、カリエス、骨膜炎、脊髓病、ヒヨウソ、カクマク、ソコヒ、蓄膿症、關節炎、リウマチ、神經痛、高血壓、心臟病、腎臟病、肝臟病、ゼンソク、膀胱病、婦人病、皮膚病、打撲傷、其他
東洋醫法振興會福島支部
平療院
福島縣石城郡平町田町三二三 屋肉店前

◉開店
御家庭御台所の御手傳へ
▲一寸御出下されば簡易に御惣菜物何でも安く揃へます。
◎どうぞ一度御用命下さい
◎精々勉强致します
◉萬漬物類
◉萬つくだに
◉食料品各種
二十三夜毎に御披露サービス券差上ます
平町三丁目魚清向へ
合資會社 上寶來屋商店

月曜論壇

七夕を奬勵せよ

近代文化の波滔々と、一朝國道の鋪裝によつて野趣掬すべき先祖傳來の行事盆の松焚きを奪はれ、その代償として僅かに三丁目を中心とする幾基かの置燈籠を與へられた吾人平町民は、静かに其間の得喪を相殺して心理上少からず赤字を感ぜざるを得ぬが飜つて從來極めて形式的に行はれ年中行事として僅かにその保を止むるに過ぎなかつた七夕が兩三年來邈然として其の盛大を來し、新たな夏の宵のスリルとして近郷近在から迄潮の如き見物人を吸引するに至つた事は嫋々の風に涼快を追ふ夜の街の一新風景として餘りにも大なる收穫たるを喜ぶに充分なるものがある、而も之れが單り現在の三丁目のみに止まらず更に二、一、四、五丁目等同じ立場に置かれてある爾餘の各町內も亦之と相呼應し少くとも風韻索然たる街頭を飾る一の藝術として各獨自の創作を發揮するならば、その範圍の大は加速度を以て實際的效果に拍車し、既に平町の一名物となつた七夕祭が今日以上に一大名聲を博するに至るべきは蓋し火を睹るよりも瞭かな事實である、如上の觀點から町民が一致協力之を盛ならしむる事に努むる一面町當局が當日遠近からの人出によつて旋て町の繁榮を招來する搦め手からの促進策として之に相當の關心を拂ふ事も決して空虛なお祭り騷ぎでは無いと思ふ、近き例を以てするも仙臺藩公三百年祭、相馬の野馬追等々その巧みなる宣傳に接する時に於て、時間と經濟との許す限り何人か之に若干の出足を唆られぬものがあるだらうか、町の福祉を助長開拓する爲、卓を叩き眦を決して侃諤の論を上下し稀には僞裝贊否の議を縱横する場合無きを保し難き町議諸公等に於ても論議生活の綠地帶を之等の方面に求め機宜の硏究を試むるなども强ち徒事ではあるまい

公明な選擧を行ふは 之即忠君愛國の大道

平町肅正委員會で聲明書を配付し

各區で座談會を開催

平町第二回選擧肅正委員會は昨二十八日午前十時から開き來月一日より一週間町內七ケ所で肅正懇談會を開く講師は町長、署長、小學校長、肅正委員、同月十六日より二十二日迄ポスター等による文書宣傳を決定、午後一時から區長會議を開き申合事項として各自相戒め苟くも吾區より選擧違反者を一名も出さゞる事、吾區より棄權者を出さゞる事を擧げた、各區の懇談會日割左の如し

八月一日長橋、新町、研町、古鍛冶、紺屋町、材木町(性源寺)二日鍛冶町、南町、大町(警察署會議室)三日一丁目、二丁目、三丁目、四丁目(同署會議室)四日五丁目、新川町、月見町、堤の內、立町、鎌田町、大工町、鐵道官舍、南白(第三小學校講堂)五日田町、才槌小路(役場會議室)六日八幡小路久保町、胡摩澤町、北目舊城跡(湯殿山)七日北白、柳町、四軒町、仲間町(九品寺)

向左の聲明書を各戶に配付する事になつたと

選擧を正しく行ふことは國民が國家の政治に參與する重大なる權利であつて社會を美化し發展せしむる源であると共に平時に於ける忠君愛國の大道であります、然るに從來の選擧は兎角種々なる弊害が多く其餘弊年と共に多きを加へ殆んと止まる所を知る能はさる樣になつた事は國民として大なる恥辱と申さねばなりません、そこで此度國を擧げて選擧を肅正し憲政治下の國民としての責務を果し政弊を刷新し國運の進展に貢獻したいといふのが此の趣旨で御座います、故に吾々はこの大切なる趣旨に鑑み一致協力己れ先づ正しきを期すると共にまた人をして邪道に陷らしむることなく公明正大眞に淸く正しき一票を行使し明るき政治の實現を期し、非常時日本の君國に奉するの考を以てこの權利を行使しやうではありませんか

消防組員肅正涵養講演

平署で消防組員の選擧肅正思想喚起のため左記日割により夫々署長、各警部補が出張神社等で講演會を開く事になつた

八月一日—好間熊野神社(署長)三日—江名(同)であると

夏井(小林警部補)高久(渡部警部補)四日—平(署長)內郷(同)五日—湯本(同)神谷(渡部警部補)平窪(齊藤警部補)六日—下小川(渡部)上小川(小林)豐間(署長)七日—赤井(同)鹿島(菊地)永戶(小林)箕輪(齊藤)八日—磐崎(署長)飯野(渡部)九日—小名濱(署長)玉川(齊藤)十日—三坂(小林)澤渡(齊藤)

夏繭豫想四千六百貫

飼養家は山村の一部 給桑も充分順調に發育

郡下の夏蠶は永戶、三坂の一少部分に過ぎず、目下桑不足もなく順調に發育して居る、平蠶業取締支所最近の調査による出廻季は來月十日頃始まつて最盛季は同十五日頃、終季は大体縣內の殿りで二十日頃にならうと、出廻數量は

永戶三千百貫 三坂千五百貫 合計四千六百貫

鎧袖一觸三四對六 白河高女を擊破

大會出場の磐女籠球陣營

縣下女子中等校体育大會は二十九日午前九時より郡山市安積、淑德二高女校庭に開催、磐女籠球部は劈頭Bコートに白河高女と接戰三十四對六のスコアで大勝目下常勝福島高女とAコートに對戰中(正午記)

相つぐ海への逃避行 眞夏氣分愈々本格化

灼熱の日曜を各濱賑ふ

照り出して初めてとも云ふべき昨日の日曜。既に一週間前から休みに入つて待機の形であつた男女中等學校生徒をはじめ兩三日後に來る休みを待ち切れぬ小學兒童迄加つて昨日の各濱は胡麻粒を滾ぼした程の人出である、凉しい日和續きの直後とて砂の灼け具合も本格では無いが第一日目で早くも風呂に入れぬ程背中を灼き爛らした、昨日に續く今日の暑さ、濱は一日と賑ひを增して行く

自動車に奪はれ 手持無沙汰の鐵道

折角の臨時もガラあき

前記の如き濱の人出に拘らず昨今の暑き入れ季節を必死の努力を續けて居る自動車の爲に蠶食される結果、中驛からの四倉行は

	廿八日	廿九日
前八、三〇	三八	四三
二、〇七	三七	二一
計	四五	三三

程の少數で折角當て込んだ臨時列車は殆どガラあき同樣の閑散振りを見せて居る

鰹魚群薄

磐城丸探漁報告

千葉縣野島沖合で鰹漁場調査中の本縣指導船磐城丸は今二十九日夕刻小名港に歸港したが黑潮異變により鰹群を見ず、近年にない不漁であつた、尙は同船は太平洋沖合一千哩に亘る海洋觀測のため來月五日小名濱を出帆すると

泉の女殺し けふ書類送檢

身柄は健康回復後

既報—泉村の女中殺し犯人湯本町天王崎元荷馬車挽業小松又郎(四九)は二十二日夜の犯行以來逮捕されるまで飮まず喰はずで居り更に植田署で取調べの結果同人も猫いらず十五瓦を嚥下してゐる事判明したので今二十九日取扱はず書類のみを送檢身柄は一兩日中恢復を待つて送檢する事になつたと

驅蠅當籤者

二十七日から三日間行つた平町いはき新報社蠅取競技會の捕獲數七十五萬六千二百六十六匹、參加人員千七百五十八名で昨年の捕獲數三十五萬四千二百七十六匹、參加千五百六十三名に比し非常な盛況振り、二十九日抽籤の結果

一等三一八 二等四四一 五四 三等一〇〇名

に決定、三等當籤者は役場前發表、當選者は長橋町同社で受取られたいと

第三案陳情團出仙

既報—平町地下採掘問題の第三案委員は仙臺監督局に陳情のため今二十九日午前六時で靑沼町長と共に出仙し一方昨二十八日の區長會で靑沼町長から其後の經過を聽いた區長連も飽迄反對を提げて邁進すべく委員として

岡田千藏、木澤常松、山崎孝之助、石坂詮太郎、鍋田三重

の五氏を擧げ今後の空氣を見て出仙陳情する方針で進む事になつたと

杉山炭鑛御嶽山參拜團

內郷村杉山炭礦主杉山今朝吉氏は常に敬神の念篤く且つ之を以て全山從業員の指導精神として毎年自ら代表從業員を引率し木曾御嶽山に參拜一山の安泰と各自の幸福とを祈願し其間精神修養に資して來たが今年も年番代表十數名を引率明三十日出發すると

飮食を拒絕され 立ち際に腕時計を强奪

うつぼの女將威し捕はる

今曉三時頃平町三丁目五一飮食店うつぼ事小菅シモ(三五)方に登樓せんした怪漢が時間が時間だからと拒絕するや矢庭にシモの右腕から七型金側腕時計(價格二十五圓)を强奪した皆夫英一の屆出により平署員が追跡同町平館前で遂に取押へたが、右は好間村大字北好間字町田賈炭商前科二犯若松市生れ武藤貞三(三三)と云ふ酒癖の惡い男で平町鎌田町に居住中も附近から蛇蝎の如く嫌はれてゐた强か者であると

壯丁檢査始まる

けふ小名濱を皮切りに 平第一校に徵兵署開始

今年度郡下徵兵檢査は既報の如く明三十日小名濱町(壯丁百四名)を皮切りに執行官聯隊區司令官眞山大佐により徵兵署平第一校に於て開始されるが、同上學科試驗は今二十九日午後より同所に於て調査委員篠山平第一、千葉同第二、赤津同第三、佐藤內郷高坂、坂內飯野各校長、菅波平第一首席訓導により開始された

成業の子が冷く 罪を辿る五十男

登場人物に本郡大浦生れ

苦學力行して立派な醫者になれた息子がうらぶれた父の訪れを『たとひ肉親の親でも』とにべもなく門前拂へを食はせ饑餓故に罪さへも犯した父は見る影もないルンペン生活へ戾つた、新版『父歸る』哀話——悲劇の父は本郡大浦村生れ東京市足立區本木町九二一岡本宮之助(五九)さん、息子は濟生會病院醫師持田忠雄氏(三八)で物語りは十數年前に始まる、當時宮之助さんは郷里で肥料商を營み土地では相當に知られた素封家であつたが酒と女に身を持ち崩し家產を傾けつくし息子を邪慶も扱ひにする始末に長男忠雄氏はたまりかねて平の中學校を卒業すると共に上京して親子の緣を斷ち切つてしまつた、それから忠雄氏は克苦力行慶應大學の豫科を卒業後醫學部に進んだ、この間に忠雄氏の窮境に同情した平町の資產家持田氏—假名—に見込まれ養子に迎へられ昨年同學部を卒業してたゞちに慶應病院婦人科病室の助手となり本年二月現在の濟生會病院勤務となつた、一方父親の宮之助さんは住宅も他[illegible]り郷里に居たゝまらず數年前上京した忠雄氏を訪ねたが既に親子の愛情を失つた忠雄氏はけんもほろろに追返した、宮之助さんは昨年再び慶應病院を訪れ

今日は食ふ物さへないのだから

と忠雄氏に哀願したが

親として養育しなかつたのだから今更面倒を見る事は出來ぬ

と突放した、かくて宮之助さんはルンペルの群に落ち四日空腹から目白雜司ヶ谷交番から辨當を盜み捕へられ一晚留置された前非を悔ひた宮之助さんは

私が惡かつたのです、わが子に迷惑をかけたくありません

とわが子を思ふ親らしい思ひやりに警官連も

後悔してゐるのだから引取つてやればよいのに

と同情してゐるが忠雄氏はあくまで父が父らしい事もせず、私の感情を僞はつてまで引取る義務はありませんと頑張つてゐる

ラヂオ体操皆勤者表彰

平町のラヂオ体操は例年の如く來月一日から二十日第一、第三兩校に於て毎日午前六時から三十分間行ふが今年は皆勤者に精勤賞を贈る事になつたと

圖畫講習會

先頃創設された縣圖畫教育研究會石城支部では來月二十九、三十の兩日(午前九時より午後三時迄)平第一校に小學圖畫指導講習會を催すが講師は磐中敎諭近藤廣記氏で小學圖畫指導要領理論と實技に關し授講すると

恐喝三名に懲役刑

平町白銀町香具師深谷小三郎(四)小名濱町下神町靴商深谷卯三郎(三六)湯本町三函土木請負業根本寛(四三)の三名に係る脅迫恐喝事件は今二十九日午前十時より平區で中島判事係り白水檢事關與、千葉(小三郎)眞木(卯三郎、寛)兩辯護士立會公判開廷、小三郎は求刑一年六月に對し懲役一年卯三郎、寛兩名は求刑一年に對し各八ヶ月を言ひ渡された

落磐で重傷

內郷村大字高坂御殿一磐炭高坂坑採炭夫佐藤松藏(三二)は二十七日午後四時頃同僚樋口三五郎外三名と入坑作業中落磐の下敷となり骨盤骨折其他に瀕死の重傷を負つた

菊田組頭會

植田署管內消防組頭會議は一昨二十七日同署會議室で開き選擧肅正に關し協議した

溜槽に轉落溺死

赤井村大字赤井字沼の作錬瓦職工布川喜內三男旭(二)は二十八日午前七時頃自宅附近で長男定雄(二)と遊戲中誤つて深さ四尺の溜槽に轉落溺死した

鼠賊に懲役一年

茨城縣多賀郡大津町大津船方皺朗吉(三三)が去る十七日午前十時半頃小名濱町小野良夫不在宅に忍入り衣類その他雜品(價格四十圓)を窃取した外昨年秋から去る三月迄の間に小名濱及び大津兩町に於て石油罐三十ケ(價格十六圓餘)を働いた窃盜事件は今二十九日午前十一時より平區で香西判事係り淸田檢事關與公判開廷懲役一年を求刑された次回は未定

足を洗つて妻歸る

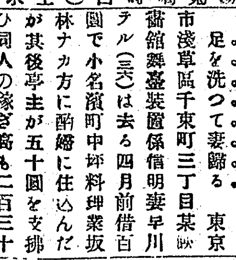
東京市淺草區千束町三丁目某妻早川テル(三六)は去る四月前借百圓で小名濱町中坪料理業坂林ナカ方に酌婦に住込んだが其後亭主が五十圓を支拂ひ同人の稼ぎ高も二百三十圓に上り衣類、小遣十餘圓を引いても殘金五十圓に充ちたので亭主も有る事であり平署では一日も早く足を洗はせ度いと今二十九日抱主と本人を呼び寄せ說諭の結果抱主方でも納得したのでテルさんは嬉し淚で引き下つて行つた

妻子五人を置去る

東京市杉並區高圓寺一丁目左官職奥山常松(三九)は去る十八日妻子五名を殘し突然自轉車で家出し二十五日實弟の湯本町辰之口奥山唯方に立寄り綴坑へ働きに行くと稱して出掛けた儘行方不明になつたので二十九日妻きみより平署に搜索願

三十日(小名濱測候所調査)

日出 四、四二 月出前 四、一八
日沒 六、四四 月沒後 六、三二
滿潮 前二、五五 後五、三〇 干潮 前一〇、三〇 後一〇、三五



舊七月一日 火曜 丁未 先勝 建 尾宿 新七月三十日

諸判定應需 東京市本郷區湯島四丁目五番地 高島易斷總本部 神誠館

▲一白 計劃そごして事業の礎まで動かんとする日▲二黑 僅かの事よりはづかしき思を生ぜんとする日▲三碧 思慮足らずして損害多かるべき日金錢注意▲四綠 行違ひ多くして苦難のみ加はるべき警戒日▲五黃 打開の道ひらけて行惱み薄らぐ努力が第一▲六白 物事愉快に捗るべき日起業開店名弘め等吉▲七赤 進むに不可なく多少の無理も通る良運の日▲八白 進退驅引時に應じて決すべし病難には警戒▲九紫 運氣此上なき日諸事出動に吉なるものとす

吸入用酸素 純度99%

度量衡 モノサシ マス ハカリ

計器 體溫器 寒暖計

[illegible] 致シマス

關內藥局 電話四〇番

流行ノ下駄ト草履ハ! ドコヨリ安イ

南町 三井ハキモノ店 電話一八一番

(小僧さん入用)

絕好の御買時 七日間 (七月三十日ヨリ八月五日マデ)

夏衣全店一掃大賣出し

思ひ切つた値段淸新なる商品全店に充滿致して居ります。御中元の贈物、御仕着せ用品にこの期を撰んで多大の御用命を偏に御願致します。

京染ジョゼット 一・八〇
新柄着尺モスリン 二・五〇
紺上等ボイル 一・二〇
◆均一臺 一圓・一圓五拾錢・二圓◆

送るに御便利 受けて重寶な 三井の商品券

三井吳服店 電話三八・三八四番